AsiaNet 97457 （1923）

アルウラ王立委員会は、2頭のアラビアヒョウ誕生を歓迎

【アルウラ（サウジアラビア）2022年8月17日PR Newswire＝共同通信JBN】

＊誕生は、絶滅危惧種保護の重要なマイルストーン

アルウラ王立委員会（RCU、Royal Commission for AlUla）は、RCUの保護飼育繁殖プログラムにとって節目となる2頭のアラビアヒョウの誕生を発表する。

今やアラビアヒョウの誇りの１つとなっている2頭の子は、サウジアラビア・タイフにあるアラビアヒョウ繁殖センターで、飼育繁殖プログラムのもと生まれた。

かつてはアラビア半島から、レバント地方にまで到達していたヒョウの生息地は、現在、サウジアラビア、オマーン、イエメンの3カ国に限られている。何世紀にもわたる生息地の喪失と密猟で、野生の種の数は200頭未満と推定されている。

繁殖プログラムを通じて生息個体数を回復し、ヒョウが繁殖できる適切な生息地を準備できることを目指すRCU の飼育繁殖プログラムと保護イニシアチブを通じて、種は最終的にはアルウラの山々の荒野に再移入される。

詳細については、<https://www.rcu.gov.sa/en/meetourcub> を参照。

編集者注：

地名はAl-Ulaではなく、常にAlUla

▽アルウラ王立委員会（Royal Commission for AlUla）について

アルウラ王立委員会（RCU）は2017年7月、サウジアラビア北西部の卓越した自然と文化を有する地域、アルウラの保全と開発のため、国王令により設立された。RCUの長期計画は、都市と経済の発展に責任ある持続可能で慎重なアプローチをとっており、アルウラを魅力ある居住地、働く場所、訪問地として確立しながら、地域の自然・歴史遺産を保護している。この計画には考古学、観光、文化、教育、芸術の幅広い取り組みが含まれ、サウジアラビア王国のビジョン2030プログラムの経済的多様化、地域活性化、遺産保護優先を実現する取り組みが反映されている。

Photo -<https://mma.prnewswire.com/media/1879246/Royal_Commission_for_AlUla_1.jpg>

Photo -<https://mma.prnewswire.com/media/1879247/Royal_Commission_for_AlUla_2.jpg>

Photo -<https://mma.prnewswire.com/media/1879245/Royal_Commission_for_AlUla_3.jpg>

ソース：Royal Commission for AlUla（RCU）